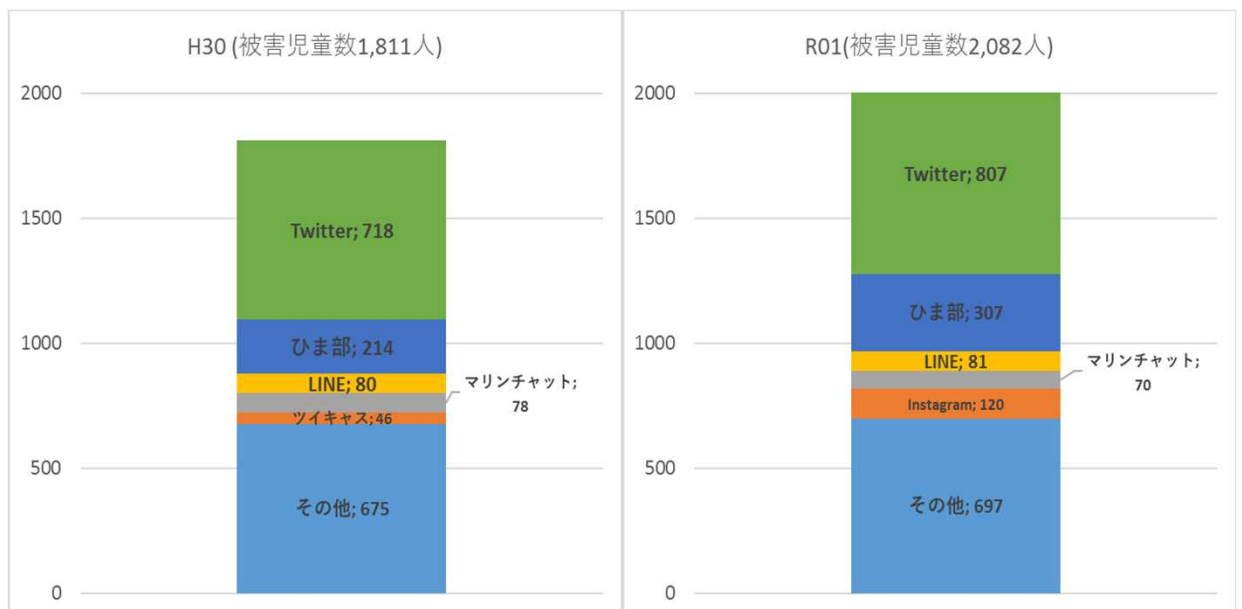




SNSに起因する児童の犯罪被害状況について

【令和元年中のSNSに起因する事犯の現状(全国)】

- 全国の「SNS」に起因する犯罪被害児童数(18歳未満)は、**2,082人(前年比+271人)**と増加
- 学校種別では、高校生1,044人(+53人)、**中学生847人(+223人)**、小学生72人(+17人)と、中学生の被害者数が急増
- 被害児童が多いサイトは
Twitter 807人、ひま部 307人、LINE 81人、マリンチャット 70人、**instagram120人**、その他697人とTwitter利用者が約4割
ツイキャスに代わり**instagramによる被害が急増!**



◎ **保護者が、契約時から「フィルタリング」を設定・利用することが大切です!**

◎ **確実にいき、子どもを有害情報や犯罪被害から守りましょう!**

(青少年が安全に安心してインターネットを利用できる環境の整備に関する法律で、事業者側にフィルタリングの提供等が義務付けられています。)

セーフネット標語「おぜのかみさま」を守ろう!



大麻事件で摘発される未成年者が増加しています！

警察庁によると、令和元年中に大麻事件で全国の警察が摘発した未成年者は609人(前年比+180人)と急増しています。

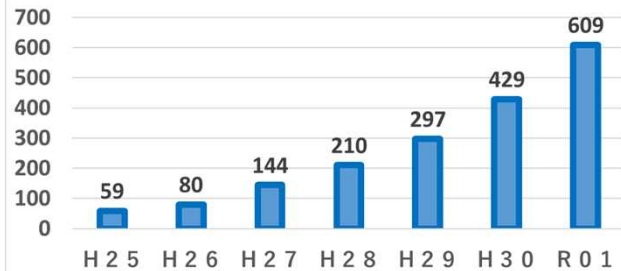
大麻取締法違反	609人(+180)	大麻事件が急増！
覚せい剤取締法違反	97人(+1)	
麻薬及び向精神薬取締法違反	37人(+13)	※MDMA、LSD、コカインなど
毒物及び劇物取締法違反	3人(-4)	※シンナーなど

薬物等の俗称

大麻:ハッピー、クサ、チョコ、野菜、リキッド
覚せい剤:シャブ、エス、スピード、アイス、氷
MDMA:エクスタシー、パツ
シンナー:アンパン

厚生労働省「薬物乱用防止読本」から

大麻事件で検挙された少年(20歳未満)



みない! ~有害サイトを~

大麻成分「THC(テトラヒドロカンナビノール)」は、脳内の記憶等を司る海馬に影響し、不安やパニック等のほか、精神疾患を発症させるリスクを上昇させるとされています。大麻の乱用により、**いらだち、不安、不眠、うつ等の禁断症状が出現**して、依存症になるおそれもあり、青少年期の乱用は更にリスクが高いとされています。(警察庁資料「薬物乱用のない社会を」から)

昨年の青少年だよりにも掲載しましたが、SNS上で「手押し」は違法薬物の直接対面取引のことを指しています。「野菜」「アイス」「手押し」をSNSで検索するだけで、違法薬物の取引情報が誰でも簡単に閲覧できてしまいます。有害情報から子どもたちを守るため、今一度、学校や家庭で「おぜのかみさま」の実践を促してください。

ルールを作って
みんなで作ろう

セーフネット標語「おぜのかみさま」

- おくらない(写真を)
- ぜったいあわない
- のせない(個人情報)
- かきこまない(悪口などを)
- みない(有害サイトを)
- さがさない(出会いを)
- まもる(家庭でのルール)

おぜのかみさまアニメーション



県ホームページから
も視聴できます。